

昭和37年9月20日生
平成23年4月福岡県議会議員初当選
平成27年4月二期目
平成31年4月二期目
添田町立添田小学校・添田中学校卒
福岡県立田川高等学校卒
日本大学商学部会計学科卒
麻生セメント株式会社入社・株式会社
麻生情報システム転籍
株式会社麻生情報システム代表取締役
社長



こうざき 聡 夢からはじまる

<http://www.kouzakisatoshi.com>



県政報告

食と緑を守る緑友会福岡県議団

令和3年8月号

福岡県文教常任委員会
国際化・多文化共生社会調査特別委員会
緑友会福岡県議団・幹事長
福岡県議会議員 **神崎 聡**

新年度に入り新しい執行体制の中、令和3年4月臨時会、5月臨時会、そして6月定例会が開催されました。

新型コロナウイルスの感染拡大と知事選挙という未曾有の事態の中で、2年間の総務企画地域振興委員会委員長としての役割を全うしました。任期後半の2年間は、2度目の文教常任委員会に所属することになり、教育改革推進方策、社会の変化に対応した教育の改善、充実に取り組んでまいります。

喫緊の課題は、新型コロナウイルス対策であります。このコロナ危機を乗り越えて、安心して生活できる社会を取り戻すことが県民の皆さんの願いではないでしょうか。感染防止対策の徹底を図り、病床のさらなる確保を進め、医療提供体制を強化し、ワクチンの接種を円滑に進めていくとともに、打撃を受けた地域経済の立て直しを進めていかなければなりません。

また、平成29年7月の九州北部豪雨で被災した日田彦山線沿線地域の復興に向け、今年2月に策定された復興計画具現化の動きが非常に重要となつてきます。田川地域の魅力を内外に発信し、アフターコロナ時代の先進的地域振興モデルとなるように取り組んでまいります。今後とも、皆様のさらなるご指導、ご鞭撻、ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



スマートフォンでも県議会録画中継

ブログ報告



動画報告



フェイスブック



フェイスブックページ



ツイッター



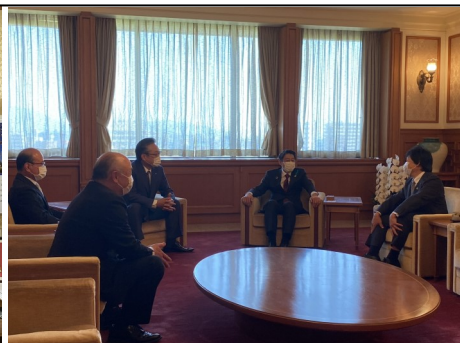
福岡県知事へ表敬訪問～川崎町

服部県知事就任直後に、原口正弘川崎町長、副町長、教育長の三役が福岡県知事を表敬訪問されました。知事と町長の共通点は、行政職員からの生え抜きであり、行政を熟知しているところです。川崎町が抱える諸課題や町の魅力など幅広く意見交換されました。また、別日程で川崎町議会の櫻井英夫議長をはじめ各常任委員長の町議会議員の皆さんも訪問され、大変有意義な表敬訪問となりました。

このように県と市町村のトップや職員同士が日頃からコミュニケーションを円滑にし、より密接に連携することによって、チームとしての力を発揮し、課題の解決に向けて取り組まなければならないと考えます。

特に、喫緊の課題である「新型コロナウイルス感染症対策」については、県民の皆様への緊急メッセージを発信するなど、市町村長の皆様と力を合わせて取り組む必要があると思います。

県と市町村が抱える様々な行政課題に対して、ともに同じ方向を向いて考え、率直な意見交換をして、互いの信頼関係を深めていくことが大切であり、そのような考えのもとで、知事におかれましては、市町村長の皆様との人間関係づくりに努めて頂きたいと思っております。



6月定例会概要

2021年（令和3年）6月議会定例会は、6月4日から6月22日までの19日間の会期で開催されました。

開会日に上程された議案は、開会日に「令和3年度補正予算議案2件」、福岡県税条例の一部を改正する条例、福岡県婦人保護施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例などの条例議案10件、契約議案13件、その他の議案5件合計30議案が上程され更にコロナ対策関連の追加予算議案が6月15日に1件、最終日には更1件（右記載）が提案されました。

開会日には、緊急を要する新型コロナウイルス感染症対策の補正予算議案1件の審査を行い議決されたのち、日程に従い、代表質問一般質問、常任委員会を経て、定例会最終日の6月22日に採決が行われ、いずれの議案も可決されました。

緑友会福岡県議団として、選挙後初めて定例会を迎える服部知事の政治姿勢、新型コロナウイルス感染症対策、教育問題など喫緊の行政課題について、服部知事並びに先の4月臨時会で新たに選任された吉田教育長、警察本部長に対し質問を行いました。

その主なものは下記の通りです。

- ・ワクチン広域接種センターを設置 12億6千万円余
 - ・高齢者ワクチン接種を促進 24億4221万円余
 - ・高齢者施設等職員へのPCR強化 5億7240万円余
 - ・県飲食店等感染防止対策承認制度創設 21億8389万円余
 - ・福岡県感染拡大防止協力金 580億6329万円余
 - ・失業等により収入が減少した世帯を支援 107億6319万円余
 - ・飲食店等に家賃支援金を給付 20億891円余
 - ・福岡県中小企業者等月次支援金を給付 6億9507円余
 - ・県産の酒づくり支援 1億3319円余
 - ・福岡の避密の旅県民向け観光キャンペーン 52億8096万円
- 議案は30件、その内訳は予算議案2件、条例議案10件、工事請負契約議案13件、財産取得議案3件、人事案件2件です。

また、最終日に「令和3年度第3次6月補正予算」が提案され可決しました。県によるワクチン優先接種の対象を拡大するとともに、まん延防止等重点措置への移行に伴い必要となる経費です。

○生活衛生関連業に従事する方へのワクチン優先接種を実施（12億9,170万9千円）

県民の衛生水準の維持を図るため、日常生活に密接に関係し不特定多数の県民と接触する機会が多い、

生活衛生関連業に従事する方を対象とした優先接種を実施

〔対象者〕理容・美容、旅館・ホテル、飲食店などの生活衛生関連業に従事する方（県内全域）

〔設置場所〕県内8か所程度

〔設置時期〕7月下旬から約3か月（予定）

〔接種規模〕約12万人分

○「福岡県感染拡大防止協力金」（427億1,979万1千円）

○「福岡県中小企業者等月次支援金」（4億6,163万4千円）



6月定例会県議会 緑友会代表質問 一、文化芸術関係者の現状に対する認識と具体的な支援策について

《緑友会質問》

コロナ禍における、伝統芸能や、文化・芸術分野の影響と支援策についてお尋ねします。新型コロナウイルスの感染拡大によって、文化・芸術の分野にも大きな影響が出ています。このままだと経営危機につながる恐れがあり、さらにアーティストが発表する場も失われていますから、文化の多様性が失われ、若い才能が育たなくなるのではないかと危惧しています。そのことは、ひいては将来の文化の衰退につながる問題だと考えます。施設の運営は言うに及ばず、アーティストへの金銭的支援は必要かつ切実な問題です。感染拡大防止が最優先ですが、「感染は収まったものの、文化・芸術は衰退した」ということは、なんとしても避けなければなりません。

このコロナ禍の中、我が会派の神崎議員の地元添田町では、地元の演奏者の皆さんと一緒に音楽の力で添田町を盛り上げようと、第1回オーケストラ音楽祭を本年8月22日に開催するそうです。

1988年にオープンした「オーケストラ」は、ピアノの名器「スタインウェイ」が2台あり、西日本屈指の音響施設を誇る音楽ホールです。この開催情報を聞いたプロの演奏家が神崎議員に相談し添田町を訪れました。また、ウイーンからもZOOMで会議するなど地方の活性化に寄与したいと申し入れがあったそうです。

文化や芸術は人の世をのどかにし、人の心を豊かにするものであります。辛く苦しい、コロナ禍の中だからこそ文化・芸術に触れあ



う機会の確保はとても大切なことだと考えます。そこで伺います。文化・芸術活動の継続に向け、関係者の現状に対する認識と具体的な支援策についてお聞かせください。

《服部知事》

新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの公演が中止または延期、収容人数の制限を設けて実施されている。全国を対象とした民間の調査によると、一昨年から昨年に比べて、音楽、演劇などの公演に係る入場料の総額は7割以上が失われたといわれている。こうしたことから、入場料収入を中心に事業を維持してきた多くの文化芸術関係者の経営環境は、厳しい状況にあると考えている。

県では、国の「月次支援金」と相まって、事業者を県独自に幅広く支援するために創設した「福岡県中小企業者等月次支援金」により、文化芸術活動を行う個人事業者やNPO法人等に対して、支援を行うこととしたところである。

また、文化芸術関係者も利用可能な保証料ゼロの「緊急経済対策資金」により、資金繰りを支援している。

国においては、雇用調整助成金の特例措置が講じられており、文化芸術関係の事業者においてもその活用が図られている。加えて、第3次補正予算では、動画による公演の収録・配信、感染症防止に対応した公演や展覧会の実施など文化芸術活動の継続に必要な経費に対する助成制度が創設されたところである。

今後も、文化芸術関係者に対し、各種支援制度を分かり易く周知し、それらを有効活用していただくことで、活動の継続が図られるよう努めていく。





令和3年度主要事業調（当初予算）

（田川郡）

（単位：千円）

課 名	事 業 名	予 算 額	箇 所 名、事 業 内 容 等
広 域 地 域 振 興	石 油 貯 蔵 施 設 立 地 対 策 事 業 費	5,677	○ 石油貯蔵施設に係る公共用施設の整備事業に対する助成
	日 田 彦 山 線 沿 線 地 域 振 興 事 業 費	1,500	○ 日田彦山線沿線地域振興事業費補助金
交 通 政 策	第 三 セ ク タ ー 鉄 道 等 近 代 化 設 備 整 備 費	8,970	○ 平成筑豊鉄道（株）が行う安全施設等の整備及び車両の法定点検費用に対する助成
青 少 年 成 育	放 課 後 児 童 ク ラ ブ 推 進 費	68,450	○ 地域における児童の健全育成活動の推進に要する経費の補助 ・放課後児童クラブ運営支援事業費（33か所） ・放課後児童クラブ利用料減免事業費
ス ポ ー ツ 企 画	ふ く お か ス ポ ー ツ 振 興 プ ロ ジ ェ ク ト 事 業 費	14,425	○ 東京2020聖火リレー事業に要する経費
ス ポ ー ツ 振 興	地 域 ス ポ ー ツ イ ノ ベ ー シ ョ ン 事 業 費	294	○ 地域スポーツイノベーションカレッジ開催に要する経費
健 康 増 進	地 域 子 ど も ・ 子 育 て 支 援 事 業 費	5,376	○ 妊産婦等に対する総合的相談支援事業に対する助成
医 療 指 導	地 域 医 療 総 合 確 保 事 業 費	5,543	○ 病院内保育所の運営費に対する助成 5,313 ○ 新人看護職員卒後研修費 230
	医 療 施 設 防 災 設 備 整 備 費 補 助 金	24,258	○ 病院・有床診療所のスプリンクラー設置等に対する助成
福 祉 総 務	福 岡 県 被 災 者 住 宅 再 建 支 援 費	2,000	○ 被災者生活再建支援法が適用される自然災害により被災した住宅の再建のために受ける融資の利子に対する補助
子 育 て 支 援	児 童 福 祉 施 設 等 整 備 事 業 費	14,173	○ 児童厚生施設の整備に対する助成（1か所）
廃 棄 物 策 対	浄 化 槽 整 備 促 進 費	31,272	○ 浄化槽の設置（個人設置型）に対する助成等 196基 ・市町村が行う浄化槽設置整備事業費補助に対する助成 ・単独浄化槽や汲み取り便槽から合併浄化槽への転換を促進するための撤去・配管費用に対する助成
	浄 化 槽 整 備 促 進 費 （浄化槽市町村整備推進費）	2,576	○ 市町村が行う浄化槽市町村整備推進事業等に対する助成 35基
自 然 環 境	自 然 保 護 対 策 費	20,080	○ 自然公園の施設整備に要する経費 19,664 ○ 福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例に基づく保護回復事業の実施 416
	英 彦 山 及 び 犬 ヶ 岳 生 態 系 回 復 事 業 費	9,698	○ シカ捕獲事業の実施に要する経費
観 光 政 策	地 場 産 業 活 力 創 造 支 援 費	1,800	○ 伝統的工芸品振興のため組合等が行う需要開拓、人材育成事業等への助成 ・上野焼協同組合
	日 田 彦 山 線 沿 線 地 域 観 光 振 興 費	5,793	○ 日田彦山線沿線の観光地域づくりの支援に要する経費

令和3年度主要事業当初予算（田川郡）

（田川郡）

（単位：千円）

課 名	事 業 名	予 算 額	箇 所 名、事 業 内 容 等
農 村 森 林 整 備	農 業 農 村 整 備 事 業 費	150,020	○ 経営体育成基盤整備事業費 ・伊方地区（福智町）
	た め 池 等 整 備 費	69,778	○ ため池等の整備に要する経費 ・くぬぎ谷地区（福智町）ほか8地区
	林 道 整 備 事 業 費	240,506	○ 県代行林道開設費 豊前坊線 185,000 ○ 森林整備林道事業費 方城2号線ほか3路線 5,506 ○ ふるさと林道緊急整備事業費 豊前坊線 50,000
	治 山 事 業 費	376,235	○ 治山激甚災害対策特別緊急事業等 ・深倉山地区ほか12箇所
林業振興	造 林 事 業 費	93,739	○ 森林環境保全直接支援事業等 森林整備 約240ha
	森 林 整 備 地 域 活 動 支 援 交 付 金	4,113	○ 森林所有者等の計画的な森林施業の実施に必要な事前活動に対する交付金
道 路 維 持	道 路 防 災 事 業 費	37,050	○ 補助事業費 ・国道500号、八女香春線 ほか
	交 通 安 全 対 策 費	170,106	○ 補助事業費 ・国道322号、猪国豊前柵田停車場線 ほか
道 路 維 持 道 路 建 設	道 路 整 備 事 業 費	593,007	○ 補助事業費 ・国道322号、英彦山香春線 ほか
道 路 建 設	基 幹 的 道 路 整 備 事 業 費	1,010,345	○ 補助事業費 ・国道322号、田川直方線 ほか
河 川 管 理 河 川 整 備	河 川 改 修 費	146,098	○ 単独事業費 ・中元寺川
砂 防	砂 防 事 業 費	379,023	○ 単独事業費 195,273 ・黒中川、深倉川左支川 ほか（砂防事業） 129,000 ・柵田宮ノ前地区 ほか（急傾斜地崩壊対策事業） 58,273 ・新規箇所調査（砂防調査） 8,000 ○ 補助事業費 183,750 ・長浦川、住野川（砂防事業） 21,000 ・添田（2）地区（地すべり対策事業） 21,000 ・不動地区 ほか（急傾斜地崩壊対策事業） 141,750
水 資 源 対 策	水 道 施 設 耐 震 化 等 促 進 費	25,760	○ 水道事業者が行う水道施設の耐震化等に対する助成
県 営 住 宅	公 営 住 宅 建 設 事 業 費	147,329	○ 県営住宅の建設に要する経費 ・丸山団地、須川団地

令和3年度主要事業当初予算（田川郡）

（田川郡）

（単位：千円）

課 名	事 業 名	予 算 額	箇 所 名、事 業 内 容 等
警 察	交 通 安 全 施 設 整 備 事 業 費	46,624	○ 交通信号機の整備 36,566 ○ 道路標識の整備 4,557 ○ 道路標示の整備 5,501
総務企画	ふくおか教育月間推進費	1,064	○ ふくおか教育月間（11月）の推進に要する経費
財 務 施 設	県立学校空調設備設置管理費	8,128	○ 県立学校の空調設備の維持・管理に要する経費
教 職 員	教員の働き方改革推進費	190	○ 県立学校における勤務時間管理システムの運用に要する経費
施 設	教員の働き方改革推進費	2,995	○ 県立学校における情報共有システムの運用に要する経費 61 ○ 県立学校における生徒の基本情報等管理システムの運用に要する経費 2,934
	高等学校施設整備費	98,201	○ 校地整備費 田川高校
	特別支援学校施設整備費	3,148	○ 施設充実費 川崎特別支援学校
文 化 財 保 護	文化財保護事業助成費	17,188	○ 指定文化財の保存整備等に対する助成
高校教育	英語力向上推進費	4,578	○ 教員の英語力、指導力の向上に要する経費 2 ○ 英語指導助手の配置に要する経費 4,576
	いじめ・不登校総合対策費	759	○ いじめ及び不登校問題の予防・早期発見と解決を図るための経費
	未来を切り拓く人材育成費	351	○ 生徒が主体となって計画立案した体験活動等の実施に要する経費
	次世代の科学技術を担う人材育成費	64	○ 高校生を対象とした「科学の甲子園」福岡県大会の実施等に要する経費
	自立と協働を学ぶ体験活動推進費	194	○ 自立と協働を学ぶ体験活動に要する経費
	高校生キャリア教育推進費	22	○ 普通科・総合学科のインターンシップ実施に要する経費
	グローバル人材育成強化費	120	○ 大学教授と高校生がディスカッションを行う合宿の実施等に要する経費 73 ○ 高校生の留学経費に対する助成 47
	英語教育強化費	29	○ 高校生の4技能型英語力の総合的な育成に要する経費
	長期入院生徒学習支援実証研究費	68	○ 長期入院中の高校生を対象とした学習支援の実証研究に要する経費
	情報活用能力向上事業費	5	○ プログラミング教育に対応するための教員指導力向上に要する経費

令和3年度主要事業当初予算（田川郡）

（田川郡）

（単位：千円）

課 名	事 業 名	予 算 額	箇 所 名、事 業 内 容 等
義務教育	いじめ・不登校総合対策費	14,815	○ いじめ及び不登校問題の予防・早期発見と解決を図るための経費
	ふくおか学力アップ推進費	60,200	○ 学力強化が特に必要な市町村が実施する学力向上プランの推進に対する助成等 1,785 ○ 学力強化が特に必要な市町村への非常勤講師の派遣に要する経費 58,415
	児童生徒の生活環境改善費	2,098	○ 市町村の全中学校区へのスクールソーシャルワーカー配置に対する助成
義務教育	英語教育強化費	4,044	○ 中学校における英語教育の高度化への対応に要する経費
	コミュニティ・スクール導入促進費	114	○ 市町村のコミュニティ・スクール導入に向けた研修会に要する経費
特別支援教育	障がい児理解啓発推進費	78	○ 小・中・高等学校との交流事業費
	特別支援学校医療的ケア体制整備費	2,875	○ 医療的ケアを必要とする児童生徒のための環境整備に要する経費
	特別支援学校等就職支援費	35	○ 企業等の関係機関から就職に係る支援や助言を受けるためのネットワーク協議会等に要する経費
	特別支援学校専門スタッフ強化費	972	○ スクールカウンセラー及び理学療法士等の外部専門家の配置に要する経費
	特別支援学校設備充実費	1,100	○ 特別支援学校点字情報ネットワークシステムの運営等に要する経費
	特別支援教育就学支援費	55,936	○ 特別支援学校の児童生徒の就学支援に要する経費
体育健康	公立学校給食運営費	699	○ 特別支援学校の給食実施に要する経費
	学校給食調理業務委託費	7,036	○ 特別支援学校の給食調理業務委託に要する経費
	健康教育推進費	74	○ 児童生徒の健康問題解決のための相談体制の整備に要する経費
	教員の働き方改革推進費	2,858	○ 市町村が行う部活動指導員の配置に対する助成 1,016 ○ 県立学校における部活動指導員の配置等に要する経費 1,842
社会教育	地域と一体となった学校づくり推進費	10,193	○ 市町村が行う放課後活動、学校支援に対する助成等
	子どもの読書習慣形成・定着支援事業費	735	○ 市町村が行う子どもの読書習慣の形成・定着に向けた取組に対する助成等

会派活動（緑友会福岡県議団～幹事長）

4月臨時会、5月臨時会、そして6月定例会と補正予算など緊急事態宣言下・まん延防止等重点措置の予断を許さない中、県議会は緊張感とスピード感を持って審議にあたっています。会派も政策審議会や議員総会、意見交換を行ないながら、国への意見書や条例検討、議会運営等々、重要政策・重点政策に全員で取り組んでいます。



常任委員会活動（文教委員会）

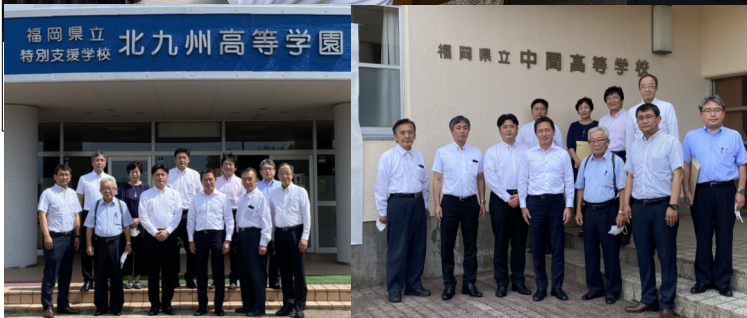
7月13日、県文教常任委員会が午前中にあり、午後からは(今期)初めての管内視察でした。視察先は①県立特別支援学校「北九州高等学園」と②県立中間高等学校。

①福岡県立特別支援学校「北九州高等学園」

軽・中度の知的障がい有する生徒を対象とした特別支援学校で、平成5年4月に開設。生徒数は151名で、職業専門・作業学習・生活学習の3つのコース別教育により個々に応じた教育を実践し、寄宿舎が設置されています。田川市郡からは15名の生徒が学んでいます。

②福岡県立中間高等学校

昭和58年4月開設、生徒数は3学年15学級で合計591名。「新たな学びプロジェクト研究実践校」に指定され、ICTを活用した授業改善を実践しています。SDGsの取り組みとして、ゴミ削減活動や企業やNPOと連携した古紙回収を行っています。校長の月森真一郎校長先生は、県立田川高等学校時代の同級生です。



議連活動（福岡県タイ友好議員連盟～副会長）

6月3日、在福岡タイ王国総領事館総領事のアッタカーン・ウォンチャナマース総領事が離任される事になり県議会を表敬されました。在ギリシャの全権大使として赴任されるそうです。福岡県の初代総領事としてご尽力され、大変親密に交流をさせてきて、3年間の在任中、コロナの感染拡大やタイ航空の破綻などご苦労もあったと思います。初代総領事としての御功績に感謝しますと共に、益々のご活躍を祈念致します。



議連活動（福岡県果樹振興議員連盟）

7月14日県果樹振興議連の管内視察で①筑後市のブドウ生産ほ場と②久留米市にある福岡県農業総合試験場資源活用研究センターを視察しました。

①農産物直売所「よらん野」に隣接するブドウ生産ほ場

ブドウの生産状況について

②平成26年、農業総合試験場、森林林業技術センター、病虫害防除所が合併。農業総合試験場となり、資源活用センターを久留米市山本町に設置しています。



日田彦山線沿線の地域振興に係る勉強会

日田彦山線沿線地域の復興に向け策定された振興計画を具体化する際のヒントとなる先進的なアイデアや取り組みを学ぶ目的で開催されました。勉強会は、福岡県・東峰村・添田町の関係者の他、県議会からは「九州の自立を考える会」のプロジェクトチームメンバーに加えて、R九州と九州観光推進機構もオブザーバーとして参加しました。

この中で、(株)スノーピーク白馬の河合秀明取締役から「グランピングを活用した地域活性化・地域振興について」、またLLC IY GLOBALのマット・タイラー・プロデューサー兼ディレクターから「海外映画等のロケ誘致と地域振興について」をテーマにした講演があり、大変活発な質疑応答・意見交換が行われました。

IY GLOBAL社は、昨年添田町にアメリカ・ハリウッドから会社を移し、代表の吉松育美さんは、ミス・インターナショナル2012年グランプリです。

IY GLOBALの吉松育美代表とマット・タイラーさん、そして寺西明男町長を交えて長い時間意見交換をしました。地元に住んでいて気づかなかった添田町の歴史・自然・文化や伝統、英彦山・岩石山の風景の素晴らしさ、人情の豊かな風土など語って頂き、地域活性化の起爆剤になってくれるのではないかと感じています。

本当にありがたく、このご縁を大事にし、これまで培ったきた人脈・経験、情熱を今一度奮い立たせねばと強く思っているところです。その後、話し合いを詰めていながら、地域の魅力を発信し、観光振興・地域振興に取り組んで参ります。



緑友会福岡県議団管内視察（添田町を世界へ）

令和3年7月20日、21日の日程で、日田彦山線沿線地域の振興を図るため、緑友会福岡県団が添田町を視察しました。

①添田町にある「ピザ カフェ&デリ：ヒシミツ」
創業140年の歴史ある醤油蔵「ヒシミツ醤油 中村典夫商店」が、2017年にイタリア料理店へと生まれ変わりました。元醤油蔵を改築した店内は、天井が高く、広々と落ち着いた空間です。地元添田町産のお野菜やこんにやく、味噌などを使った前菜は、どれも美味。前菜からすでに満足感があり、続くパスタとピザへの期待感が一気に高まってきます。2年前に委員長を務めていた総務企画地域振興委員会でも視察に来ましたが、緑友会県議団一同、添田町にこんなに洒落なお店があるのか、イメージが一変したと驚いていました。



②添田町の歴史的風致を活かした街づくり
小倉から英彦山への日田道には、国指定重要文化財「中島家」をはじめ、町指定重要文化財「中村家」や法光寺など今なお残る歴史的建造物が数多く存在しています。平成26年6月23日、町の文化財や伝統芸能を保存、継承するために策定した「添田町歴史的風致維持向上計画」が国から認定を受けました。福岡県では大宰府市に次いで2番目となりました。この認定をうけ、歴史的風致を後世に継承し、魅力ある「まちづくり」に添田町では取り組んでいます。



略歴

昭和53年 添田町立添田中学校卒業
昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業
昭和60年 日本大学商学部会計学科卒業
昭和60年 麻生セメント株式会社入社
平成2年 株式会社麻生情報システム転籍（分社化）
平成12年 株式会社麻生情報システム 取締役
平成13年 株式会社麻生情報システム 代表取締役
平成23年 福岡県議選（田川郡区） 初当選
平成27年 福岡県議選（田川郡区） 2期目当選
平成31年 福岡県議選（田川郡区） 3期目当選

福岡県議会で主な所属

緑友会福岡県議団 幹事長
県文教常任委員会 委員
県国際化・多文化共生社会調査特別委員会 委員
福岡県総合計画審議会 委員
福岡県地域交流推進協議会 委員
福岡県タイ友好議員連盟 副会長
福岡県森林・林業・林産業活性化促進協議会 副会長
福岡県日韓友好議員連盟
福岡県日米友好議員連盟
福岡県日中友好議員連盟
福岡県国際交流推進議員連盟
福岡県ベトナム友好議員連盟
福岡県台湾友好議員連盟
福岡県防衛議員連盟
福岡県果樹振興議員連盟
過疎地域活性化対策福岡県議員連盟
産地地域活性化対策福岡県議員連盟
オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟
福岡県観光産業振興議員連盟
福岡県文化議員連盟
福岡県スポーツ議員連盟
九州・沖縄未来創造会議
九州の自立を考える会
日本金融福岡支部 幹事
田川直方バイパス延伸推進期成会 顧問
田川広域観光協会 理事
下関北九州道路整備促進福岡県議員連盟
JR日田彦山線復旧PT協議会 委員



たミスアカデミックを立ち上げ、既に添田町の施設（そえだJOY）を活用し、添田町もプロジェクトチームを発足させています。様々なイベント事業等の構想の聞きながら、緑友会も力強く後押しするために意見交換をしてきました。

④この他にも、県有財産、町有財産の有効活用とJR日田彦山線復旧問題進捗状況を確認するため、そえだJOY、福岡県立英彦山青年の家、JR彦山駅舎解体工事現場を視察してきました。

■令和3年5月	6月3日	在福岡タイ王国総領事館表敬訪問	日中友好議員連、ベトナム友好議員連、	
5月7日	6月4日～22日	6月定例県議会	タイ友好議員連、台湾友好議員連、国際交	
5月10日	6月7日	地域振興調査活動（添田町長）	流推進議員連、防衛議員連、スポーツ議員連	
5月11日	6月10日11日	代表質問	文化議員連、観光議員連総会	
5月12日	6月10日	オイスカ国際活動促進福岡県議会議員	6月23日	添田町役場他地域振興調査活動
5月13日	6月11日	連盟総会	6月24日	上田川ライオンズクラブ
5月14日	6月11日	福岡県果樹振興議員連盟総会	6月27日	赤村長・村議会議員選挙開票日
5月17日	6月14日～16日	一般質問	6月28日	地域振興に関する調査活動
5月17日	6月14日	福岡県タイ友好議員連盟役員会	6月29日	県土整備に関する調査活動
5月18日	6月14日	福岡県文化議員連盟役員会	6月30日	地域振興に関する意見交換（添田町）
5月19日	6月14日	福岡県産地地域活性化対策議員連盟総会	令和3年7月	
5月20日	6月14日	過疎地域活性化対策福岡県議会議員連	7月1日	政策審議会
5月21日	6月15日	盟総会	7月7日	田川県土整備事務所要望打ち合わせ
5月24日	6月16日	福岡県森林・林業・林産業活性化議員	7月13日	文教常任委員会管内視察
		連盟役員会	7月14日	福岡県果樹振興議員連盟管内視察
5月25日	6月17日18日	常任委員会	7月15日	IY-GLOBALミナソグ・アベソ（添田町）
5月26日	6月19日20日	地域振興調査活動	7月19日	県土整備事務所、添田町役場ミナソグ
5月27日	6月20日	赤村長・村議会議員予定候補者激励	7月20日21日	緑友会管内視察（添田町）
5月28日	6月21日	田川県土整備事務所	7月26日	県土整備に関する調査活動
5月31日	6月22日	赤村長・村議会議員選挙告示日	7月27日	福岡県総合計画審議会
■令和3年6月	6月22日	福岡県日米友好議員連、日韓友好議員連	7月30日	国際化・多文化共生社会特別委員会